**研究課題名：COVID-19発症リスクを規定する免疫学的因子の解明**

**１．研究の対象**

2021年3月に当院で「COVID-19ワクチン接種による免疫学的反応を検討するための検体収集」の研究に参加し将来の研究使用に同意された方。

**２．研究目的・方法**

この研究は、「どのような免疫学的な特徴があるとCOVID-19を発症しやすいのかを明らかにすること」を目的としています。この研究を通じて得られた結果は、今後どのような人たちにブースターワクチン接種が必要かを判断する重要な情報につながると考えられます。

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科が主導し、千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科、千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学と共同し、研究を行います。試料・情報から、個人を特定する情報は既に削除されており、匿名化された形で利用します。研究の具体的な内容は、以下の2つを予定しています。

1) ワクチン接種を受けた後にCOVID-19にかかった感染者と、濃厚接触者からそれぞれ100名程度を選びます。これらの試料を用いて、COVID-19のウイルスに曝露された際に、COVID-19を発症した人とそうでない人の免疫学的反応の違いや、どのような特徴があるのかを調べます。

2) ワクチン接種を受けた後にCOVID-19にかかった感染者と、濃厚接触者の血液から採取した免疫細胞がどのような遺伝子を発現しているかという特徴を調べます。年齢や性別などの臨床情報をなるべく一致させた各々10名程度を予定しています。既に試料・情報から、個人を特定する情報は削除され、匿名化されており、得られた遺伝子の情報から個人を特定することは極めて困難です。

研究期間は、2021年承認後から2026年12月31日までを予定しています。

**３．研究に用いる試料・情報の項目**

この研究では、研究課題「COVID-19ワクチン接種による免疫学的反応を検討するための検体収集」を通じて採取した、末梢血単核球、血清、臨床情報を用います。これらの試料・情報は、個人を特定できる情報は全て削除されており、全く関係のない符号を割り当てることで既に匿名化されています。

**４．研究に用いる試料・情報を利用する者の範囲**

この研究は、千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科が主導し、千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科、千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学と共同して行います。

**５．研究組織**

千葉大学医学部附属病院　アレルギー・膠原病内科

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学

千葉大学　研究責任者：中島裕史

**６．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の提供者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

　　照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科　中島裕史

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1

電話: 043-226-2198

内線: 5531

Email: allergyandclinicalimmunology@gmail.com